

問 平成7年まで全国で毎年  
1万人を超えていた交通事故  
故死者数は、令和5年には267  
8人と年々減少している。一方で、  
厚生労働省による人口動態統計で  
は、全国で亡くなつた自殺者数の  
推移を見ると令和5年は2103  
7人、うち北海道では976人で  
あり、令和4年と比較しても64人  
の増加となつてゐる。交通事故者  
数と自殺者数を単純に比較はでき  
ないものの、近年では2万人前後  
を推移している自殺者の社会的状  
況は、減少傾向になく、命の大切  
さと死亡者抑制に対する公的・社  
会的投資の厚さに大きな違いを感じ  
られずにはいられない。

町は昨年3月に「第3期まくべ  
つ健康21」を策定しており、町に  
おける自殺対策について伺う。

(1)今後の自殺対策への具体的な施  
策は。

(2)国では毎年3月を「自殺対策強  
化月間」として相談事業や啓発活  
動を集中的に実施しているが、町  
の取組状況は。



# 石川 康弘 議員 (無会派)

## 問 自殺対策について

答 心の健康づくり等に関する情報発信や、関係機関と連携し相談体制の充実に努める

### (3) ウエルビーリング（幸福実感）を啓発する考えは。

町長

(1) 第2期自殺対策行動計画は、令和6年度から17年度までの12年間を計画期間とし、3つの基本施策を掲げて取組を進めている。

おり、令和4年と比較しても64人の増加となつてゐる。交通事故者数と自殺者数を単純に比較はできないものの、近年では2万人前後を推移している自殺者の社会的状況は、減少傾向になく、命の大切さと死亡者抑制に対する公的・社会的投資の厚さに大きな違いを感じられずにはいられない。

二つ目に「自殺対策を支える人材育成、ネットワークの強化」では、ゲートキーパー養成研修会を開催し、身近な人の心の不調に気付き自殺対策を支える人材を増やしていくとともに、「幕別町いのち支える連携会議」により府内の適切な相談連携体制を整える。

三つ目に「生きることへの促進

# ゲートキーパーになろう！

人は謙も落ち込むことがあります。  
これを謙んでいるあなたたちは落ち込むこともありますでしょうし、  
もし、身近な人や大切な人が落ち込んでいるとでも心配になりますよね。  
少しでも光景に落ち込んでもらうために何かできることがないか  
でも何をしたらいいのかわからなくて困るんだことはありませんか？  
そんな時は、勇気を出してまずはさくしゃくをかけてみることから  
はじめてみてはどうでしょうかー。

ーその行動が、ゲートways第一歩になりますー

(2)自殺対策基本法第7条では、3月を自殺対策強化月間と定め、国や地方公共団体は自殺対策を集中的に展開し、関係機関や関係団体と連携協力しながら、相談事業などの事業実施に努めるものと定めている。本町では本年、広報3月号を通じて強化月間の周知を行ない、北海道立精神保健福祉センターハ「こここころの相談窓口」や24時間対応可能な「北海道いのちの電話」、町の健康相談窓口やメール

町としては、法に定められた国や地方公共団体の責務のほか、事業主や国民の責務を発信し、自殺対策を社会全体で支える意識の醸成を図る。そして、第2期自殺対策行動計画の基本施策に沿って、誰もが悩みや生活上の困難を抱える人に気付き、必要な支援につなげられるよう、心の健康づくり等の情報発信や関係機関との連携を通じた相談体制の充実に努める。

(3) ウエルビーリングとは、身体的、精神的、社会的に良好な状態であることを指し、短期的な幸福だけでなく、生きがいや人生の意義といつた持続的な幸福を含む概念であり、その感じ方は個人の生活環境などによつて様々である。

ウェルビーイング  
**Well-being** = 3つの健康が  
満たされた状態

